

第4回 定例教育委員会

1 開催年月日

平成21年5月27日（水）

2 主な議事の概要

[説明事項1] 第59回奈良県教職員永年勤務者表彰式の実施について

平成20年度中に離職・退職した教育関係職員の功績をたたえる、永年勤務表彰者及び表彰式の概要について説明があり、承認されました。

委員から、表彰の出席者について質問があり、事務局から、対象者の約半数が出席する予定との回答がありました。

[説明事項2] 平成22年度奈良県公立高等学校入学者選抜の基本方針について

平成22年度の公立高等学校入学者選抜の基本方針の策定について説明があり承認されました。

委員から、スポーツ選考に関する質問があり、事務局から1校あたり10名であり、インターハイ強化指定校は継続して実施の予定であるとの回答がありました。

また、委員から、特色選抜が5年目を迎え今後どのようにしていくかとの質問があり、事務局から、高校生の意識調査で7～8割の家族が評価してくれている一方で一部の高等学校では倍率が高くなっているため、今後の方向性を検証していくこと、学校の特色化、職業学科、特色コースを持っている学校は活性化しているが、普通科の特色選抜の一部で倍率が高くなっており、普通科の特色選抜を中心に検討しているとの回答がありました。

また、委員から、今後の対応については委員からの意見を聞いて検討するようにとの意見がありました。

[報告事項1] 第2期教師塾（ディア・ティーチャー・プログラム）の実施について

奈良県内の国公立学校教員を目指す、大学3年生又は大学院1年生を対象に教師としての資質や実践的指導力を高めるための、学校現場実習や講義、演習、研究協議等のプログラムをおこなう教師塾の第1期の実績と第2期の募集について報告があり、了承されました。

委員から、受講者が2名減少した理由について質問があり、事務局から、1名は大学院生で採用されたため、もう1名は進路変更のためとの回答がありました。

また、委員から、有料化に関して個人的な勉強であるので今年度から有料化したのは当然で、第2期はよりよいものにしてほしいとの意見がありました。

[報告事項 2] 「2009近畿まほろば総体」開催1か月前キャンペーンについて

「2009近畿まほろば総体」開催1か月前を機に、大会を支える高校生実践活動「わっしょい倭」の高校生が、おこなうキャンペーン活動について報告があり、了承されました。

委員から、新型インフルエンザが奈良県で確認された場合の対応について質問があり、事務局から、文部科学省、全国高体連とも態度を決めかねており、文部科学省の姿勢としては、感染が発生したことから全国的な大切な行事を直ちに中止するというわけではない。全国高体連は、各都道府県高体連に通知を出し基本的には実施する方向にあって、各都道府県高体連が参加について判断することになる。また最終的な実施は、全国高体連が文部科学省の指導を仰ぎながら判断することになるとの回答がありました。